

ウンカ情報第2号

平成24年7月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 セジロウンカの発生状況

6月下旬の調査では発生は確認されませんでした。7月上旬の本田すくいとり調査（捕虫網による20回振り）では、県内全域の54ほ場で成虫（図1）及び幼虫が捕獲されました。長久手市における予察灯でも成虫の誘殺を確認しています。

捕獲数は成虫が2.23頭（平年0.43頭）と過去10年で最も多く（表）、飛来が急増しました。幼虫の発生量もやや多い状況で、今後さらに増加すると予測されます。多発ほ場では株の黄化や生育遅延などの被害（図2）が発生しますので、ほ場をよく観察し、今後の発生動向に十分注意してください。

表 セジロウンカの本田調査結果（平成24年7月上旬調査 単位:頭）

調査方法	成虫	幼虫	計
捕虫網による20回振り	2.23 (0.43)	0.13 (0.55)	2.36 (1.13)

注1) () 内数値は平年値（平成14～23年の平均）

注2) 106ほ場での平均



図1 セジロウンカ成虫



図2 セジロウンカ吸汁加害による黄化、生育遅延

2 トビイロウンカの発生状況

県内の予察灯で成虫は誘殺されておらず、本田調査でも発生は確認されていません。しかし、JPP-NETによると他県では6月4日高知県四万十市（4頭）、6月6日高知県四万十市（3頭）、6月24日熊本県合志市（1頭）、6月25日長崎県諫早市（1頭）、7月1日長崎県諫早市（2頭）、7月4日香川県綾川町（1頭）と、四国、九州地域で誘殺されています。今後の気象条件によっては、飛来して被害が発生する可能性があるため、ほ場での発生動向に注意してください。